

## 8月コラム

皆様、こんにちは！山県市マリッジサポートセンターの相談員です。

さて、独身のお子様を持つ親御さん、独身の従業員の心配をされる経営者の皆様、そして身近に独身の知人がいる皆様、それぞれが彼ら・彼女らに結婚して欲しいと思う気持ちがあると思います。しかし、当人たちはいつか結婚できるだろうと思うだけで実際に婚活をしない日々を何となく暮らしている方が多いかと思います。

また、一番身近で心配をされるのは親御さんです。「この子が一人きりになったら寂しいだろうな、生活できるだろうか。」「家の跡継ぎは無くなってしまおうだろうか。」「私たちの面倒は誰がみてるのだろうか。」などとお子様を思う気持ちのほかに家や自分たちの将来を心配されるご相談を受けることがあります。

先日相談を受けた女性Aさんは、「親があればこれうるさいので結婚相談所に入会しましたが、本当は結婚せずにずっと一人が良いなって思うこともあります。」と心の内を話してくれました。

しかし、「どうしてそんなふうに思うのかな。」と聞きますと、

「もう色々面倒で毎日の普通の生活を変えたいと思わないです。結婚すると気を遣わなければいけないでしょう。」とおっしゃっていました。

確かに、家族以外の他人と暮らすのは気を遣うし面倒に思ってしまうかもしれません。

しかし、「面倒なことをあえてすることが人として女性として成長できるのよ。それもしないまま年を重ねたいかな。知らないことを経験したいと思いませんか。」と私が伝えると、

「そうですね、まだ知らないことがいっぱいあります。」と彼女は眼を輝かせて答えてくれました。

そこで私は、「あなたにこんなにたくさんの男性が会いたいと言っているのよ。」と男性のデータを見せました。一人ひとり真剣に見てすべてお断りではありましたが、Aさんが一言「私、再婚の年上の頼りがある男性がいいなあ。」とおっしゃったので、「近くに理想の人がいるみたいね？」と聞きますと、「はい！」と返事を返してくれました。

彼女は私たちとこんな会話をした結果、出会いたい人のイメージができ、婚活に前向きになりました。そして、「もう少し婚活頑張ってみます。」と満面の笑顔で帰られました。

時代とともに結婚に対する考え方が多様化し、新型コロナウイルスの影響で人と人のコミュニケーションが難しくなってきた今、独身者の婚活に対する気持ちも変わってきました。

しかし、私たちは結婚したいと希望される皆様の応援、後押しの取り組みを行っています。

山県市マリッジサポートセンターにおきましても、4月、5月は閉所となっていたため、活発な取り組みはできませんでしたが、6月からは1対1のお見合いをどんどん進めています。こういう時代だからこそ、家族との時間がより大切になってきました。結婚について少しでも考えている独身男女が身近にいましたら、山県市マリッジサポートセンターがありますよってお伝えください。独身のお子様がいる親御さんやご家族の皆様の結婚相談も受けています。私たちスタッフは一人ひとりを大切に寄り添って婚活応援させていただきます。

今年は、スキルアップセミナーや婚活カフェを新型コロナウイルス対策を万全にした上で行いますのでお近くの独身の皆様にお知らせ頂ければ幸いです。